

令和7年6月12日

令和6年度

決 算 書

資料目次

I 収支決算書	ページ
① 事業概況の報告	1・2
② 正味財産増減計算書・正味財産増減計算書内訳表	3・4
③ 貸借対照表・貸借対照内訳表	5・6
④ 財産目録及び財務諸表に対する注記、附属明細書	7・8
II 事業報告書	
① 事業報告書	9～19
② 物品預託と払い出しの報告書	20
③ ボランティア奉仕の報告書	21

公益社団法人 熊本善意銀行

〔はじめに〕

新型コロナウイルスの影響が徐々に和らぎ、経済活動が回復の兆しを見せる中、県内では新たな成長の機会も広がっています。特に、台湾積体回路製造(TSMC)をはじめとする半導体関連企業の集積は、地元企業の競争力向上や雇用創出を通じて、地域経済に大きな波及効果をもたらすと見込まれます。

また、訪日外国人(インバウンド)の増加も、観光業や関連産業の振興、消費の拡大につながり、地域経済の活性化を後押しすると期待されます。

一方で、世界的な異常気象やウクライナ情勢、中東情勢に加え、円安ドル高の影響を受けたエネルギーや食料品の価格高騰が、私たちの生活に深刻な影響を及ぼしています。さらに、能登半島地震や日向灘地震などの自然災害が相次いで発生しており、県内でも引き続き熊本地震や令和2年7月豪雨の被災地復興、被災者の生活再建が大きな課題となっています。

こうした状況の中、令和6年度に県内外の皆様から寄せられた善意による受取寄付金は、大口の預託があった前年度を下回りましたが、新規の預託者は増加。コロナ禍や物価高の影響を強く受けている障がい者、高齢者、ひとり親家庭などを支援する団体へ幅広く助成を行うことができました。

熊本善意銀行は昭和38年3月の設立以来、県民の皆様からお預かりした善意の労力や金銭を、支援を必要とする方々へ届ける「善意の架け橋」として活動を続けてまいりました。これもひとえに会員の皆様をはじめ、預託者やボランティアの皆様の長年にわたるご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

多難な時代ではありますが、善意銀行は未来を担う子どもたちをはじめ、郷土熊本の社会福祉のために、役に立てる存在でありたいと願っております。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

〔事業概況の報告〕

令和6年度の収支は、正会員の会費収入が前期より200千円減少。受取寄付金は新規の預託者数は前期に比べて増えましたが、大口の預託が前年より少なかったことから、前期比67.6%の6,484千円(前期9,596千円)でした。このため全体の経常収益は22,699千円(前期25,996千円：前期比87.3%)で、前期より3,297千円減少しました。費用面では支払助成金などが前期より減少したため、全体の経常費用は24,682千円(前期24,868千円：前期比99.3%)となり、前期より186千円減になりました。その結果、全体の当期経常増減額は▲1,982千円(前期1,129千円)でした。

「財務3基準」については、①収支相償は公益目的事業会計の当期経常増減額が▲7,496千円となり、事業費が収入を超えている②公益目的事業比率は全体の経常費用24,682千円のうち、公益目的事業費が22,084千円で全体の費用の89.5%③遊休財産保有制限は、遊休財産が20,234千円で公益目的事業費22,084千円を下回っていることから

いずれも基準を満たしております。

会計処理は、公益法人会計基準で処理しました。正会員の会費収入は公益目的事業会計と法人会計に折半、管理関係費用は分配基準に従い同様に配分しました。

本年度に行った公益目的事業等は次の通りです。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は県民をはじめとした多くの方々から寄せられた「善意の預託」に加えて、正会員の会費収入の50%を受け入れました。また、事業費は管理関係費用の83%を受け入れました。

以下、一般正味財産増減の状況について報告します。

経常収益は受取寄付金に受取会費、雑収益を加え14,587千円（前期17,796千円：前期比82.0%）となりました。経常費用は事業費と同額で22,084千円（前期22,151千円：前期比99.7%）、当期経常増減額は▲7,496千円（前期▲4,355千円）でした。

公益目的事業は、従来の「小・中学校への車いす贈呈」「100歳到達者への記念品贈呈」、県内のボランティア3団体への「地域ボランティア表彰」「火災被災者への見舞金」などを行いました。このほか「ひとり親家庭の小学校入学祝い」「肢体不自由児の入学祝い」「交通遺児の中学校卒業祝い」「施設児童の高校進学祝い」など児童・生徒に記念品を贈呈しました。

また、申請を受けて、「県子ども食堂ネットワーク」「ひのくにスマイルプロジェクト」「県地域こども食堂支援センターTSUDOU・NET」など物価高で利用者が増えている子ども地域食堂の活動支援、ひとり親家庭の子どもたちの地域学習を支援している「県ひとり親家庭福祉協議会」、コロナ禍で製品販売の機会が減少した障がい者作業所を支援する「きょうされん熊本支部」、障がい者の支援と経済的自立に取り組む「くまもと障がい者労働センター」、孤立孤独対策の居場所づくり活動に取り組む「生きづらさカフェ」、児童養護施設や里親家庭を巣立つ若者のサポートに取り組む「NPO法人ブリッジフォースマイル」「NPO法人トナリビト」、第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会へ県代表として出場した「県立盲学校アンサンブル部」などに対して助成を行いました。

《法人会計》

法人会計は、会員の皆様からの会費収入で支えられております。前述の通り、会費収入の50%と受取利息が収入となり、経常収益は8,112千円（前期8,200千円：前期比98.9%）でした。一方、費用面では全体の管理関係費用の17%が管理費となり、経常費用は2,598千円（前期2,717千円：前期比95.6%）でした。当期経常増減額は5,514千円（前期5,484千円：前期比100.6%）となりました。

正味財産増減計算書

令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	16,199,670	16,400,000	-200,330
正会員受取会費	16,199,670	16,400,000	-200,330
受取寄付金	6,484,473	9,595,910	-3,111,437
受取寄付金	6,484,473	9,595,910	-3,111,437
為替差益	0	0	0
雑収益	15,020	262	14,758
受取利息	15,020	262	14,758
経常収益計	22,699,163	25,996,172	-3,297,009
(2) 経常費用			
事業費	22,083,702	22,150,934	-67,232
役員報酬	298,800	298,800	0
給料手当	4,780,800	4,780,800	0
臨時雇用賃金	816,886	768,366	48,520
福利厚生費	221,622	221,981	-359
旅費交通費	372,157	340,825	31,332
通信運搬費	561,035	524,244	36,791
消耗品費	804,628	415,181	389,447
印刷製本費	84,484	112,849	-28,365
広告宣伝費	1,554,926	1,554,926	0
賃借料	921,396	921,396	0
会報発行費	496,672	496,672	0
支払助成金	6,371,968	7,467,600	-1,095,632
チケット購入費	110,000	100,000	10,000
記念品購入費	2,419,386	2,261,433	157,953
新聞代・送料	302,820	194,670	108,150
車いす購入費	908,000	487,300	420,700
毛布購入費	371,844	369,419	2,425
減価償却費	671,558	831,472	-159,914
為替差損	0	0	0
雑費	14,720	3,000	11,720
管理費	2,597,882	2,716,612	-118,730
役員報酬	61,200	61,200	0
給料手当	979,200	979,200	0
臨時雇用賃金	167,314	157,374	9,940
福利厚生費	45,391	45,465	-74
旅費交通費	76,225	69,807	6,418
通信運搬費	114,912	107,374	7,538
消耗品費	89,440	85,038	4,402
印刷製本費	10,996	13,651	-2,655
広告宣伝費	318,479	318,479	0
賃借料	188,724	188,724	0
会報発行費	101,728	101,728	0
減価償却費	138,038	170,633	-32,595
為替差損	0	0	0
雑費	306,235	417,939	-111,704
経常費用計	24,681,584	24,867,546	-185,962
当期経常増減額	-1,982,421	1,128,626	-3,111,047
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-1,982,421	1,128,626	-3,111,047
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,982,421	1,128,626	-3,111,047
一般正味財産増減額	-1,982,421	1,128,626	-3,111,047
一般正味財産期首残高	23,546,496	22,417,870	1,128,626
一般正味財産期末残高	21,564,075	23,546,496	-1,982,421
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	21,564,075	23,546,496	-1,982,421

正味財産増減計算書内訳表

令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	総合計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	8,099,835	8,099,835	16,199,670	0	16,199,670
正会員受取会費	8,099,835	8,099,835	16,199,670	0	16,199,670
受取寄付金	6,484,473	0	6,484,473	0	6,484,473
受取寄付金	6,484,473	0	6,484,473	0	6,484,473
為替差益	0	0	0	0	0
雑収益	3,063	11,957	15,020	0	15,020
受取利息	3,063	11,957	15,020	0	15,020
経常収益計	14,587,371	8,111,792	22,699,163	0	22,699,163
(2) 経常費用					
事業費	22,083,702	0	22,083,702	0	22,083,702
役員報酬	298,800	0	298,800	0	298,800
給料手当	4,780,800	0	4,780,800	0	4,780,800
臨時雇用賃金	816,886	0	816,886	0	816,886
福利厚生費	221,622	0	221,622	0	221,622
旅費交通費	372,157	0	372,157	0	372,157
通信運搬費	561,035	0	561,035	0	561,035
消耗品費	804,628	0	804,628	0	804,628
印刷製本費	84,484	0	84,484	0	84,484
広告宣伝費	1,554,926	0	1,554,926	0	1,554,926
賃借料	921,396	0	921,396	0	921,396
会報発行費	496,672	0	496,672	0	496,672
支払助成金	6,371,968	0	6,371,968	0	6,371,968
障がい者福祉	1,432,768	0	1,432,768	0	1,432,768
児童福祉	3,033,400	0	3,033,400	0	3,033,400
災害見舞助成	220,000	0	220,000	0	220,000
各種団体助成	1,685,800	0	1,685,800	0	1,685,800
チケット購入費	110,000	0	110,000	0	110,000
記念品購入費	2,419,386	0	2,419,386	0	2,419,386
新聞代・送料	302,820	0	302,820	0	302,820
車いす購入費	908,000	0	908,000	0	908,000
毛布購入費	371,844	0	371,844	0	371,844
減価償却費	671,558	0	671,558	0	671,558
為替差損	0	0	0	0	0
雑費	14,720	0	14,720	0	14,720
管理費	0	2,597,882	2,597,882	0	2,597,882
役員報酬	0	61,200	61,200	0	61,200
給料手当	0	979,200	979,200	0	979,200
臨時雇用賃金	0	167,314	167,314	0	167,314
福利厚生費	0	45,391	45,391	0	45,391
旅費交通費	0	76,225	76,225	0	76,225
通信運搬費	0	114,912	114,912	0	114,912
消耗品費	0	89,440	89,440	0	89,440
印刷製本費	0	10,996	10,996	0	10,996
広告宣伝費	0	318,479	318,479	0	318,479
賃借料	0	188,724	188,724	0	188,724
会報発行費	0	101,728	101,728	0	101,728
減価償却費	0	138,038	138,038	0	138,038
為替差損	0	0	0	0	0
雑費	0	306,235	306,235	0	306,235
経常費用計	22,083,702	2,597,882	24,681,584	0	24,681,584
当期経常増減額	-7,496,331	5,513,910	-1,982,421	0	-1,982,421
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-7,496,331	5,513,910	-1,982,421	0	-1,982,421
他会計振替額	3,348,076	-3,348,076	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,148,255	2,165,834	-1,982,421	0	-1,982,421
一般正味財産増減額	-4,148,255	2,165,834	-1,982,421	0	-1,982,421
一般正味財産期首残高	-1,172,218	24,718,714	23,546,496	0	23,546,496
一般正味財産期末残高	-5,320,473	26,884,548	21,564,075	0	21,564,075
II 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高					
正味財産期末残高	-5,320,473	26,884,548	21,564,075	0	21,564,075

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,322,305	21,491,811	-1,169,506
流動資産合計	20,322,305	21,491,811	-1,169,506
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1	55,185	-55,184
工具器具備品	261,267	481,277	-220,010
ソフトウェア	1,068,804	1,603,206	-534,402
その他の固定資産合計	1,330,072	2,139,668	-809,596
固定資産合計	1,330,072	2,139,668	-809,596
資産合計	21,652,377	23,631,479	-1,979,102
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	54,450	51,131	3,319
預り金	12,852	12,852	0
未払法人税等	21,000	21,000	0
流動負債合計	88,302	84,983	3,319
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	88,302	84,983	3,319
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	21,564,075	23,546,496	-1,982,421
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	21,564,075	23,546,496	-1,982,421
負債及び正味財産合計	21,652,377	23,631,479	-1,979,102

貸借対照表内訳表
令和 7 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	総合計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	93,702	20,228,603	20,322,305	0	20,322,305
未収金	0	6,518,133	6,518,133	-6,518,133	0
流動資産合計	93,702	26,746,736	26,840,438	-6,518,133	20,322,305
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
(2) 特定資産					
(3) その他固定資産					
建物附属設備	0	1	1	0	1
工具器具備品	216,851	44,416	261,267	0	261,267
ソフトウェア	887,107	181,697	1,068,804	0	1,068,804
その他の固定資産合計	1,103,958	226,114	1,330,072	0	1,330,072
固定資産合計	1,103,958	226,114	1,330,072	0	1,330,072
資産合計	1,197,660	26,972,850	28,170,510	-6,518,133	21,652,377
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	6,518,133	54,450	6,572,583	-6,518,133	54,450
預り金	0	12,852	12,852	0	12,852
未払法人税等	0	21,000	21,000	0	21,000
流動負債合計	6,518,133	88,302	6,606,435	-6,518,133	88,302
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	6,518,133	88,302	6,606,435	-6,518,133	88,302
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産					
一般正味財産	-5,320,473	26,884,548	21,564,075	0	21,564,075
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
正味財産合計	-5,320,473	26,884,548	21,564,075	0	21,564,075
負債及び正味財産合計	1,197,660	26,972,850	28,170,510	-6,518,133	21,652,377

※内部取引等消去相当額は令和7年度正味財産計算書内訳表において他会計振替し精算する

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金（公益）	16,084
			運転資金（法人）	103,886
	普通預金	肥後銀行 水道町支店	運転資金（公益）	70,937
		肥後銀行 水道町支店	運転資金（法人）	8,408,783
		熊本銀行 下通支店	運転資金（公益）	314
		熊本銀行 下通支店	運転資金（法人）	11,715,934
		郵便振替	運転資金（公益）	983
		肥後銀行 水道町支店	運転資金（公益）募金箱口座	5,384
流動資産合計				20,322,305
(固定資産)				
基本財産				0
特定資産				0
その他 固定資産	建物付属設備	当行	帳簿等保管（公益目的保有財産）	0
			帳簿等保管（法人会計）	1
	工具器具備品①	当行	サーバ（公益目的保有財産）	102,726
			サーバ（法人会計）	21,040
	工具器具備品②	当行	PC3台（公益目的保有財産）	114,125
			PC3台（法人会計）	23,376
	ソフトウェア	当行	会計システム（公益目的保有財産）	887,107
			会計システム（法人会計）	181,697
固定資産合計				1,330,072
資産合計				21,652,377
(流動負債)				
	未払金		通信運搬費等	54,450
	預り金		源泉所得税	12,852
	未払法人税		法人県民税	21,000
流動負債合計				88,302
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				88,302
正味財産				21,564,075

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,449,000	1,448,999	1
工具器具備品 (P C)	1,055,587	1,055,586	1
工具器具備品 (サーバ)	572,990	449,224	123,766
工具器具備品 (P C)	1,100,000	962,500	137,500
ソフトウェア (会計システム)	2,672,010	1,603,206	1,068,804
合計	6,849,587	5,519,515	1,330,072

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし。

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

熊本善意銀行では地域社会や福祉の活力を取り戻すため、令和6年度も県内の社会福祉関係の催事や取り組みを一層支援しました。さらに公益社団法人としての自覚を再認識し、地域に根差した社会福祉事業を遂行しました。

令和6年度の中核事業は以下の通りです。

- (1) 障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成
- (2) 100歳を迎えたお年寄りのお祝い、施設児童や交通遺児の進学・卒業祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成
- (3) 登録ボランティア団体の活動の高齢者施設などへの橋渡し（新型コロナウイルス感染拡大が続いた影響で、令和2年2月下旬から見合わせていた仲介を令和6年6月より再開）

管理・運営面では、可能な限り経費支出の抑制に努め、広報面では事業の活発化と公平性を保つため、新聞やラジオのほかホームページを充実させ、啓発活動に力を入れました。また、ポスターやリーフレットの配布を通じて当行の公益法人としての活動や業務の内容を広く周知することができました。

1、〔公益目的事業〕

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行いました。

「事業内容」	「備考」
金銭助成	
① 障がい者福祉助成：公1事業	助成15件
▼「オハイエくまもと第15回とっておきの音楽祭」に助成 【申請者】 NPO法人オハイエくまもと 【期 日】 令和6年5月19日 【場 所】 花畑広場、新市街、熊本市現代美術館、城彩苑、その他 障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむ場を提供し、音楽の力で心のバリアフリーを目指しました。より多くの人たちとふれあうために、会場は市街地の屋外とし、当日は市内5カ所でそれぞれの参加団体、個人が歌、踊り、ダンスを披露しました。	前期と同数
▼「生の芸術 Art Brut 展覧会」に助成 【申請者】 アール・ブリュット パートナーズ熊本 【期 日】 令和6年4月～令和7年3月 【場 所】 県立美術館や県内の移動美術館 障がいのある作家らの創造性あふれる作品の発表の場。作品への共感と障がい観の改革、芸術を通して障がいのある人もない人も共に生きる社会	

づくりを目指しました。県立美術館での「生の芸術Art Brut 展覧会」や連携企画「アール・ブリュット移動美術館」などを開催。講演会や作家育成にも取り組みました。	
▼県立盲学校アンサンブル部の「第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会」出場に助成 【申請者】 熊本県立盲学校 【期 日】 令和6年8月4日、5日 【場 所】 長良川国際会議場（岐阜県） 全国高等学校総合文化祭岐阜大会の器楽・管弦楽部門に県代表として出場。大会では、盲学校の児童生徒が学部の枠を超えて音楽に親しみ、生き生きと演奏する姿を全国の生徒たちに見てもらいました。また、各都道府県器楽・管弦楽部門代表校のステージ演奏を視聴し、音楽鑑賞力を高めるとともに、交流会に参加し他校生徒との交流を図ることができました。さらに、公共施設、公共交通機関等を利用する際のルールやマナーについても体験を通して学ぶことができました。	
▼「第5回熊本市放課後等デイサービス連盟運動会」に助成 【申請者】 熊本市放課後等デイサービス連盟 【期 日】 令和6年8月9日 【場 所】 熊本県立総合体育館 連盟に加盟している各事業所（34 法人、70 施設）の発達障害、知的障害などをもった児童同士の交流を深めるとともに、様々な運動を行うことで心身の発達を促すことを目指しました。	
▼「第7回 障がい児者、家族の作文発表会・作文集作成」に助成 【申請者】 熊本県障害児・者親の会連合 【期 日】 令和6年9月13日（応募締め切り）、発表会11月30日 障がい児・者への理解と啓発を目的に、また社会への共感を得るため、障がい者本人、兄弟、両親から作文を募集。テーマは「ありがとう」。応募作すべてを掲載した文集を作成し、県内の特別支援学校、市町村の教育委員会などに配布しました。作文発表会を熊本県総合福祉センターで開催しました。	
▼「第47回日本ダウン症協会熊本支部夏季療育訓練」に助成 【申請者】 日本ダウン症協会熊本支部（小鳩会） 【期 日】 令和6年8月16日～18日 【場 所】 阿蘇プラザホテル ダウン症児・者が各年齢に応じて日常実施している早期療育や学校での教育を基盤とし、雄大な自然の中での集団生活を通して社会性を養い、身体諸機能の働きを促進することを目的に開催しました。	

▼令和6年度「ふれあい移動動物園」に助成（後援） 【申請者】 熊本県肢体不自由児協会 【期 日】 令和6年11月5日 【場 所】 熊本県こども総合療育センター 南阿蘇ふれあい動物園から小動物（12種、約140頭）を連れてきてもらい、子どもたちが動物と触れ合う「ふれあい移動動物園」を設営。日頃、様々な体験活動が制約されている肢体不自由児に、動物とふれあい、感動や喜びを感じてもらえる機会を提供しました。	
▼「第10回 肢体不自由児ふれあい写真展」に助成（共催） 【申請者】 熊本県肢体不自由児協会 【期 日】 募集：令和6年10月1日～31日 巡回展示：令和6年12月2日～同7年2月21日 【場 所】 特別支援学校やこども総合療育センターなどで展示 県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、肢体不自由児の文化活動を促進すると同時に、社会の理解と啓発を促すことを目的に実施しました。入賞作品は17点。特別支援学校や県こども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置小中学校などでも巡回展示会を行いました。	
▼「第17回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（熊本大会）」に助成（後援） 【申請者】 熊本県身体障害者福祉団体連合会 【期 日】 令和6年10月18日 【場 所】 熊本県民総合運動公園パークドーム熊本 九州各県・政令指定都市の身体障がい者が一堂に会し、グラウンド・ゴルフ競技を通して機能回復訓練と体力の維持増強を図るとともに、相互の親睦と交流を深め、自立と積極的な社会参加を促進し、社会の理解と認識を深めることを目的に開催しました。九州身体障害者団体連絡協議会に加盟する九州各県・政令指定都市の身体障がい者団体が持ち回りで開催する九州大会。	
▼「障害者の自ら望むライフステージを実現。『工賃向上への取り組み～弁当事業の設備整備～』」に助成 【申請者】 くまもと障害者労働センター 【期 日】 令和6年12月 【場 所】 くまもと障害者労働センター厨房内 熊本地震で被災した建物の復旧費による負債や、コロナ禍による収入減少の影響で、数年間赤字が続き、調理器具の更新が進められませんでした。助成により、成長が見込まれる弁当事業の増産に対応できる新たなフライヤーと食缶を購入し、売り上げの向上を目指しました。これにより、障害者の工賃向上につなげる取り組みを進めました。	
▼「第33回九州車いすツインバスケットボール選手権大会熊本大会」に助成 【申請者】 熊本県車いすツインバスケットボール連盟	

【期 日】 令和7年1月18日、19日 【場 所】 熊本保健科学大学新アリーナ 第33回九州車いすツインバスケットボール選手権大会熊本大会は、四肢麻痺の重度障害者がスポーツを通じて体力の維持・増進・機能回復などの向上を図り、自立更生を促進し、社会活動への参加を通じて健常者との交流を深めることを目的として開催しました。	
▼「第32回クリスマス交流会」に助成 【申請者】 熊本県重症心身障害児（者）を守る会 【期 日】 令和6年12月7日 【場 所】 くまもと江津湖療育医療センター地域交流スペース 重症心身障害児（者）と地域との交流や会員同士の親睦を図るため、「クリスマス交流会」を開催。今年も食事会やお楽しみ抽選会のほか、音楽療法士による生演奏や熊本学園大学の学生ボランティアとのふれあいを通して、子どもたちに楽しいひと時を過ごしてもらいました。	
▼「第49回くまもとダウン症協会クリスマス会」に助成 【申請者】 くまもとダウン症協会 【期 日】 令和6年12月15日 【場 所】 九州ルーテル学院大学体育館 クリスマスという季節行事を通じて、ダウン症の子供たちの成長を発表し合うとともに、保護者間の親睦を深めました。また、ボランティア学生と楽しく交流し、子供たちの心のケアにつなげることができました。	
▼「障害のある方の仕事づくり販売・なかま芸術祭」に助成 【申請者】 きょうされん熊本支部 【期 日】 令和7年3月6日 【場 所】 びぶれす広場 障害のある人たちの絵画や作った物を展示して障害やその特性への理解促進につなげ、多様性を認め合う社会づくりに寄与する事を目的として開催。物価高で苦しむ障害者の工賃確保のため、福祉事業所の商品販売も行いました。	
▼「県内肢体不自由児への小学校入学祝として文房具セット」を助成 【申請者】 熊本県肢体不自由児協会 【期 日】 令和7年3月 【場 所】 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級 令和7年度に特別支援学校小学部1年及び市町村の小学校特別支援学級に入学する肢体不自由児への入学祝いとして、文房具セットを提供しました。	
② 児童福祉助成：公1事業	助成9件
▼「令和6年度グローバルジュニアドリーム事業」に助成 【申請者】 熊本県青少年育成県民会議	前期と同数

【期 日】 令和6年8月5日～8日、3泊4日 【場 所】 台湾（高雄市、新竹市） 未来の熊本を担う肥後っ子（小学6年生から中学生）に、「夢」についての講話や異年齢集団による海外派遣及び交流活動を通して、自分の夢と可能性を発見する機会を与えるとともに、世界の中の日本・郷土熊本に誇りを持ち、グローバル社会に視野を向けた子供の育成を図ることを目的としました。航空運賃の一部、海外旅行障害保険代やパスポート申請料などの参加費は、個人負担となっており、就学援助対象者及び児童養護施設入所者5人分の参加費を助成しました。この事業への児童・生徒の参加者は合計25人でした。	
▼「県下15児童養護施設の夏季行事」に助成 【申請者】 熊本県養護協議会 【期 日】 令和6年度の夏休み期間中 美しい自然の懷にいだかれて、自由な楽しい、規律ある共同生活を営み、児童相互の協力と自主的活動を通じて情操を豊かにし、想像力の涵養並びに体力の向上を図ることを目的に実施しました。	
▼「非行少年の改善更生・自立復帰のための援助活動」に助成 【申請者】 熊本少年友の会 【期 日】 令和6年度内 【配布先】 家庭裁判所・少年鑑別所、補導委託先など 非行少年の改善更生・社会復帰のため善意の奉仕・援助活動を行う。①補導少年に委託先での日用品等の贈呈②少年鑑別所入所中の一部少年への援助③家庭裁判所の要請に基づく少年・保護者への援助④奉仕作業に参加する少年・学生ボランティアに対する必要な経費などに助成しました。	
▼親子のつどい「食と農の体験塾」に助成 【申請者】 熊本市母子寡婦福祉連合会 【期 日】 令和6年6月30日 【場 所】 宮田農園（宇城市三角町宮崎） ひとり親家庭及び寡婦の方々が親子ともども一緒に楽しみ、児童の健全育成につながることを目的に「食と農の体験塾」を実施。同イベントでは、子どもたちに、自然のままの食材を使い、電気やガスを使わずにおいしい食べ物を作る方法を体験してもらいました。	
▼「令和6年度ひとり親家庭新入学児童へのリュックサック」助成 【申請者】 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 【期 日】 令和7年1月12日 【場 所】 嘉島町民会館ホール コロナ禍や物価高で経済的な影響を受けているひとり親家庭（母子寡婦及び父子）や交通遺児の新入学児童180人にお祝いのリュックサックを	

贈りました。																		
▼「ひとり親家庭の新入学児童への学用品助成」に助成 【申請者】 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 【期 日】 令和7年1月12日 【場 所】 嘉島町民会館ホール コロナ禍や物価高で経済的な影響を受けているひとり親家庭（母子寡婦及び父子）や交通遺児の新入学児童180人にお祝いの文房具セットを贈りました。																		
▼交通遺児・施設児童中学卒業祝いを贈呈（物品助成） 高校・専門学校進学や中学卒業のお祝いとして、腕時計49個（男子30人、女子19人）を令和7年2月に贈呈しました。																		
▼「『地域の学習教室』に学ぶ子ども支援事業」に助成 【申請者】 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 【期 日】 令和7年3月まで 【場 所】 県内40カ所 コロナ禍や物価高でひとり親の雇用や収入が減る中、子どもたちに学習の機会を設けて支援するため、「地域の学習教室」を県内40カ所で実施。計333人が週1～2回利用しています。教師も計184人がボランティアで指導しており、その教材や文具等を提供して、子どもたちが学習に取り組める環境づくりや意欲の向上に取り組みました。																		
▼「親と子のレクリエーション」に助成 【申請者】 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 【期 日】 令和6年4月～同7年3月 【場 所】 16市郡の各会場 「楽しい仲間づくり」「新しい仲間づくり」「親と子のふれあい」を目的に、県内で親子の集いやクリスマス会、清掃活動などを実施。父子家庭や交通遺児の親子にも参加を呼び掛けて交流を深め、子どもの健全育成を図りました。																		
③ 災害見舞い金：公1事業																		
▼火災見舞い22件に見舞金や毛布		前期19件																
④ 各種団体の助成：公1事業		助成10件																
▼地域ボランティア3団体へ表彰状と助成金（前期より3団体減）		前期と同数																
<table><tr><td>No.</td><td>団体名</td><td>住所</td><td>代表者名</td></tr><tr><td>1</td><td>TEAM 城南ワンダホー</td><td>熊本市南区</td><td>岩村匡</td></tr><tr><td>2</td><td>あさぎり町商工会青年部有志の会</td><td>あさぎり町</td><td>戸高雄二</td></tr><tr><td>3</td><td>子育てネット・荒尾</td><td>荒尾市</td><td>野田ゆみ</td></tr></table>			No.	団体名	住所	代表者名	1	TEAM 城南ワンダホー	熊本市南区	岩村匡	2	あさぎり町商工会青年部有志の会	あさぎり町	戸高雄二	3	子育てネット・荒尾	荒尾市	野田ゆみ
No.	団体名	住所	代表者名															
1	TEAM 城南ワンダホー	熊本市南区	岩村匡															
2	あさぎり町商工会青年部有志の会	あさぎり町	戸高雄二															
3	子育てネット・荒尾	荒尾市	野田ゆみ															
▼「児童養護施設退所者などの相談窓口・居場所スペース『おとなりさん』の食糧支援プロジェクト『おとなり便』」に助成																		

【申請者】 認定NPO法人トナリビト 【期 日】 令和6年5月と10月の2回 【場 所】 相談窓口・居場所スペース「おとなりさん」 施設退所者のために居場所スペース「おとなりさん」を設置。利用者を支援するための食料を整備し、相談がある子ども・若者たちに食料支援を行いました。また、3月に県内児童養護施設を退所する子供たち35人に「おとなり便」（一人暮らし支援食糧BOX）を送りました。	
▼「孤立孤独対策の居場所づくり活動」に助成 【申請者】 『生きづらさカフェ』～ただの居場所～ 【期 日】 令和6年10月～同7年3月 【場 所】 大江地域コミュニティセンター 病気や障害の有無にかかわらず、ひとりで生きづらさを抱えている方々の孤独や孤立を防ぎ、世代を超えた地域のつながりを構築することを目的に活動しています。その一環として、毎週土曜日に大江地域コミュニティセンターで「大人食堂」を開催。望まない孤独や孤立の状況にある方々が集う居場所を提供し、心のケアを支援する活動に取り組みました。	
▼「もりのめぐみの音楽会」に助成 【申請者】 団体名 「Q」 【期 日】 令和6年12月22日 【場 所】 益城町復興まちづくりセンター「にじいろ」 「もりのめぐみの音楽会」は、参加者に木や木の実を使った楽器づくりを体験してもらい、作った楽器を使って合唱団と共に歌遊びやリズム遊びを楽しむことで、音楽をより身近に感じてもらえる機会を提供しました。さらに、今回は、熊本地震で被災された方々にも元気と希望を持ってもらえるように、益城町での開催としました。	
▼「児童養護施設や里親家庭などの巣立ちプロジェクト」に助成 【申請者】 認定NPO法人ブリッジフォースマイル熊本 【期 日】 令和7年2月～3月 児童養護施設や里親家庭などを18歳で出なければならない子どもたちが、スムーズに社会に羽ばたくことができるよう、一人暮らし準備やキャリア形成のためのセミナーなどの支援活動に取り組みました。その事業のひとつとして、高校3年生向けに8月から半年間にわたって、「一人暮らし準備セミナー」を実施。一人暮らしに必要な知識やスキルを学習してもらい、翌年3月に出席回数に応じて、参加者へ自立に必要な生活必需品を贈りました。	
▼自殺予防啓発のためのボールペン作成を助成 【申請者】 熊本いのちの電話 【期 日】 令和7年3月まで 熊本いのちの電話が、自殺予防のための啓発活動として開催している公開講演会、相談員養成講座などで参加者に配布する「いのちの電話」の相	

談電話番号を印刷したボールペン１０００本の作成費を助成しました。熊本のいのちの電話は年間約１万件の相談電話に、９０名のボランティアが年中無休で対応しています。	
▼児童養護施設等を巣立ちした若者などへ成人式の代わりに振袖での着付け・写真撮影をプレゼントする「２０２４年度KIMONOプロジェクト」に助成 【申請者】 認定ＮＰＯ法人トナリビト 【期 日】 令和７年２月２２日 【場 所】 相談窓口・居場所スペース「おとなりさん」、水前寺成趣園 児童養護施設等を巣立ちして頑張っている若者や、家庭の事情で親を頼れない若者へ、成人式の代わりとして振袖での着付けや写真撮影などを無料でプレゼントし、人生の大切な節目を一緒にお祝いしました。	
▼「県内子ども地域食堂の食材購入」に助成 【申請者】 熊本県こども食堂ネットワーク・ＮＰＯ法人ひのくにスマイルプロジェクト(熊本県こども食堂応援ネット) 【期 日】 令和７年３月末まで 【場 所】 県内の子ども地域食堂１１０カ所 県内の「子ども地域食堂」は、多くの世代が集う拠点となっており、コロナ禍や物価高で経済的に困窮している家庭の子どもや高齢者まで様々な人たちの利用が続いています。保存ができる調味料などの購入費を助成しました。	
▼「熊本県地域こども食堂支援センターTSUDOU・NET」加盟の子ども地域食堂への食材購入に助成 【申請者】 特定非営利活動法人 熊本県地域こども食堂支援センター TSUDOU・NET 【期 日】 令和７年３月末まで 【場 所】 県内の子ども地域食堂８０カ所 県内の子ども地域食堂の中間支援として学習機会の提供やつながりの構築、食材支援等を行っています。コロナ禍や物価高の中、保存ができる食材の購入を支援し、運営する上での安全衛生などについても情報の提供をしました。	
▼「県下におけるネットワーク未加盟」の子ども地域食堂への食材購入に助成 【申請者】 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 【期 日】 令和７年３月末まで 【場 所】 県内の子ども地域食堂１０カ所 県内の「子ども地域食堂」は、多くの世代が集う拠点となっており、コロナ禍や物価高で経済的に困窮している家庭の子どもや高齢者まで様々	

な人たちの利用が続いています。子ども食堂を運営するネットワーク団体未加盟の子ども地域食堂を対象に、保存ができる調味料などの購入費を助成しました。	
物品助成	
① 敬老の日「百歳到達者」に記念品贈呈など（第４４回）：公１事業 敬老の日「百歳到達者」に記念品を贈り、長寿をお祝いしました。合わせて千代の園酒造から預託を受けた清酒「百歳万歳」も贈呈。記念品の配送は熊日メディアコムや熊日物流販売、熊日販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅または施設などへ配りました。	対象 1010 人 前期 934 人
② 郷土紙送料：公１事業 熊本県出身の青年海外協力隊員へ郷土紙電子版を提供しました。（通年）JICA熊本などの要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術支援教育支援などを行っている隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を電子版で提供しました。行動制限が解除され、新たな派遣隊員は１９人でした。	前期 12 人
③ 車いす贈呈：公１事業 菊池郡市の小中学校２０校に車いすを贈りました。熊本県肢体不自由児協会の要望を受けて平成１６年度から毎年、県内の小中学校に贈っており、本年度で２１回目。これまでの贈呈数は合計４１６台になりました。１１月８日、代表して大津町の大津中で贈呈式を行いました。車いすは児童生徒が不慮の事故に遭った際や介護実習などにも使われています。	前期 11 台
④ 毛布・タオル贈呈：公１事業 ・県下の被災者へお見舞いとして毛布５７枚を贈呈。 ・障がい者スポーツ大会などの参加賞としてタオル７４５本を贈呈。	前期 39 枚 前期 695 本
広報宣伝：公１事業	
市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるために下記の媒体を使用し、活動内容を広く訴えました。 ・新聞広告の掲載、ラジオCM。熊本放送ご協力によるラジオ番組「善銀だより」での呼び掛け。 ・ホームページの充実、ポスターやリーフレット、募金箱等の配布。	
会報発行：公１事業 ・会報「善銀だより」の発行。	2000 部

2、[会務の運営]

- ・総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・定時総会は令和6年6月12日に開催。

② 理事会

- ・定時理事会は3回開催しました。

令和6年5月22日 決算理事会

令和6年6月12日 業務執行理事選定

令和7年3月19日 予算理事会

- ・臨時理事会の開催は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

(令和6年度は開催なし)

③ 運営委員会

- ・運営委員会は事業の効果的な推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため令和6年の5月22日、7月17日、9月18日、11月13日、12月11日、令和7年2月19日、3月19日の計7回開催しました。

④ 同種活動団体との情報交換

富山県善意銀行と情報交換や機関紙の交換を行い、活動の参考にしました。

3、[その他]

① 1個人2団体に感謝状（9月）

「金銭預託」個人部門 匿名(熊本市)

「金銭預託」団体部門 たちばな酒店(熊本市南区)

「金銭預託」団体部門 八起堂(熊本市中央区)

② 支援学校文化作品展の審査

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように、熊本県高等学校文化連盟特別支援学校専門部、熊本県特別支援学校長会、一般財団法人熊本公徳会とともに令和6年10月25日、「支援学校文化作品展」の審査を実施。優秀作品3点に熊本善意銀行賞を授与しました。

③ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

障がい者福祉施設が作っている製品の販売会を熊本市上通町の「びぶれす広場」で一般財団法人熊本公徳会などとともに年3回開催。障がい者福祉施設の販売製品を多くの市民の方々に紹介することができました。

④ 肢体不自由児ふれあい写真展を共催

熊本県肢体不自由児協会が開催している「肢体不自由児ふれあい写真展（旧デジタル写真展）」を令和6年度も共催。県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、肢体不自由児の文化活動を促進しました。特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置小中学校などでも巡回展示会を実施しました。

⑤ 預託の拡充

善意の輪を広げ、よりきめ細やかに熊本の社会貢献活動に寄与する目的で設けたサポーター制度「善銀パートナー」の参加団体は、14団体・事業所でした。このほか公益社団法人のメリット、優遇税制（平成25年9月12日に税額控除に係る証明書を取得）などをPRするとともに、企業・個人からの預託は新聞・ラジオのほか携帯サイトを含むホームページ、機関紙、ポスター、リーフレットや募金箱等でも告知しました。

⑥ ボランティア団体等の拡充

新型コロナウイルス感染症の長期化で令和2年2月下旬から見合わせていた施設との橋渡しについては、令和6年6月より再開しました。今期は21の団体・個人が年間を通してボランティア奉仕活動を行いました。当行はその活動を新聞やホームページで紹介し、新規活動者の拡充にも取り組みました。

令和6年度「物品の預託と払出」報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和6年度の使用済み切手を除く物品預託件数は74件となり、前年度(89件)より減少しました。新規預託者数(使用済み切手預託含む)は16個人、8団体でした。火災見舞いは前年度は19件でしたが、本年度は22件に増加しました。毛布の払出は57枚で前年度(39枚)に比べ、18枚の増加となりました。

預託者	品名	払出先
荒木雅子さん他1件	食品3箱	きらきら星レジデンスなど2施設へ
九州ラーメン党	ラーメン280杯	広安愛児園など3施設へ
熊本城稲荷神社・高橋稲荷神社	御神饌27箱	友愛会銀杏寮など5施設へ
(株)興農園	花の球根2582球	ゆめの里など10施設へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃなど413点	熊本ライトハウスなど11施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」988本	本年度の百歳到達者へ
NPO法人日本国際童謡館	コンサート招待券300枚	熊本県ひとり親家庭福祉協議会など9福祉団体へ
三牧恵さん他5件	生活用品など8箱	菊池園など5施設へ
吉田忠志さん他3件	玄米・米135 ^{キロ}	くまもと支援の会など8施設・団体へ
山部広美さん	生花14束・野菜1箱	イエズスの聖心病院など4施設へ
季節料理ふじかわ他15件	未使用はがき・書き損じはがき1277枚	交換・換金し福祉資金へ
宮本真由美さん他10件	未使用切手166725円分	交換・換金し福祉資金へ
熊本わくわく体操ボランティア協会他1件	未使用テレホンカード1500円分	交換・換金し福祉資金へ
預託者数159件(延べ240回)	使用済み切手40 ^{キロ}	換金し福祉資金へ
熊本善意銀行	毛布57枚	火災見舞いとして22件

令和6年度「ボランティア奉仕」報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設訪問等のボランティアは令和2年2月下旬から仲介を見合わせていましたが、令和6年6月より再開しました。令和6年度のボランティア登録数は21団体・個人です。

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
さつき倶楽部(熊本市)	演奏	104	リデルホーム黒髪など
スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ(熊本市)		23	秋津デイサービスセンターなど
みゆき&オートルズ(益城町)		5	益城病院認知症デイケアなど
熊本ハワイアン倶楽部(宇城市)		2	ニチイケアセンター保田窪など
くまモンひよっとこ会(熊本市)	演芸	10	特別養護老人ホームつるのはらなど
ボランティアグループ隣保組(熊本市)		5	デイサービスセンター福まる道場など
熊本さわやかハイヤ倶楽部(熊本市)		3	コスモスファミリー熊本など
さくらば会(熊本市)		3	黒髪しょうぶ苑など
ボランティアグループ和会(熊本市)		2	ひまわり園など
熊本民踊会(熊本市)		1	デイケア成仁
明日香会(熊本市)	大道芸	5	メディケア癒やし京町台など
ハレルヤ笑いヨガくらぶ(熊本市)	健康体操	5	学研ココファン尾ノ上など
熊本奇術クラブ(菊陽町)	マジック披露	4	ツクイ長嶺営業所など
KARA・KARA(熊本市)	合唱	2	ケアプラザ宇土など
柏原幹治(熊本市)	相撲甚句	3	笑顔の広場水前寺デイサービス
ろごす腹話術くまもと(熊本市)	腹話術	2	託麻ワークセンターなど
田中知恵子さん(熊本市)	使用済み切手整理	24	換金のための仕分け作業
森病院患者有志(熊本市)		2	
森病院ボランティアサークル(熊本市)		1	
匿名1件(熊本市)		1	
20件		207	